

医療システム部会 全体活動報告

目次

・体制	2
・電子カルテ委員会	10
・検査システム委員会	13
・部門システム委員会	16
・セキュリティ委員会	20
・相互運用性委員会	23
・電子処方箋実装ガイド策定TF	27

2021年2月5日
医療システム部会
副部会長 湯澤 史佳

体制

医療システム部会

- SS-MIX2仕様策定TF
- 電子処方箋実装ガイド策定TF

電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
- 患者安全ガイド輸血編WG

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- ・臨床検査システム専門委員会
- 臨床検査データ交換規約改定WG
- POCTデータ交換標準化検討WG
- 外注検査データ交換ガイド作成WG
- ・内視鏡部門システム専門委員会
- ・病理・臨床細胞部門システム専門委員会

部門システム委員会

- リハビリ計画検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
- 看護情報WG
- ・物流システム専門委員会

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

相互運用性委員会

- ・メッセージ交換専門委員会
- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- PCD-WG
- HL7翻訳合同WG
- ・データ互換性専門委員会

横串機能

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	部会長	森田 嘉昭	富士通(株)
〃	副部会長	真壁 光男	日本電気(株)
〃	副部会長	湯澤 史佳	キャノンメディカルシステムズ(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
-SS-MIX2仕様策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-電子処方箋実装ガイド策定TF	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
電子カルテ委員会	委員長	井上 貴宏	富士通(株)
〃	副委員長	根来 亮介	(株)ソフトウェアサービス
〃	副委員長	新垣 淑仁	日本電気(株)
・患者安全ガイド専門委員会	専門委員長	坂西 裕	富士通(株)
- 患者安全ガイド輸血編WG	リーダー	坂西 裕	富士通(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
検査システム委員会	委員長	藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
//	副委員長	河野 努	日本光電工業(株)
//	副委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン
//	副委員長	福重 二三男	富士通(株)
- 放射線治療WG	リーダー	今井 高文	富士フィルム医療ソリューションズ(株)
- 検査レポート検討WG	リーダー	藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
- DICOM WG	リーダー	村田 公生	富士フィルム(株)
//	サブリーダー	渡邊 克也	PHC(株)
・臨床検査システム専門委員会	専門委員長	福重 二三男	富士通(株)
//	副専門委員長	三沢 泰一	ラジオメーター(株)
- 臨床検査データ交換規約改定WG	リーダー	千葉 信行	(株)エイアンドティー
- POCTデータ交換標準化検討WG	リーダー	三沢 泰一	ラジオメーター(株)
- 外注検査データ交換ガイド作成WG	リーダー	川田 剛	(株)NTTデータ
・内視鏡部門システム専門委員会	専門委員長	河野 努	日本光電工業(株)
・病理・臨床細胞部門システム専門委員会	専門委員長	近藤 恵美	シスメックスCNA(株)
//	副専門委員長	鈴木 昭俊	(株)ニコン

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
部門システム委員会 // //	委員長 副委員長 副委員長	金子 正和 藤咲 喜丈 岡本 重敏	富士通(株) 日本光電工業(株) 富士通(株)
-リハビリ計画書検討WG	リーダー	金子 正和	富士通(株)
・病棟業務支援システム専門委員会 //	専門委員長 副専門委員長	藤咲 喜丈 安藤 智昭	日本光電工業(株) (株)ケアコム
-看護情報WG //	リーダー サブリーダー	木戸 須美子 汐崎 弘子	キャノンメディカルシステムズ(株) 日本電気(株)
・物流システム専門委員会 //	専門委員長 副専門委員長	岡本 重敏 後藤 孝周	富士通(株) PHC(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
セキュリティ委員会	委員長	茗原 秀幸	三菱電機(株)
〃	副委員長	梶山 孝治	(株)日立製作所
〃	副委員長	近藤 誠	日本電気(株)
-電子保存WG	リーダー	近藤 誠	日本電気(株)
-監査証跡WG	リーダー	西田 慎一郎	(株)島津製作所
-HPKI電子署名規格作成WG	リーダー	有馬 一閣	(株)NTTデータ
-セキュアトークンWG	リーダー	谷内田 利義	(株)リコー
-JAHIS-JIRA合同 リモートサービスセキュリティ作成WG	リーダー	松本 義和	サイバートラスト(株)
-シングルサインオンWG	リーダー	山岡 弘明	富士通(株)
-JAHIS-JIRA合同 開示説明書WG	リーダー	下野 兼揮	(株)グッドマン
-教育事業WG	リーダー	村田 公生	富士フイルム(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
相互運用性委員会	委員長	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
//	副委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副委員長	窪田 成重	富士通(株)
・メッセージ交換専門委員会	専門委員長	中田 英男	日本電気(株)
//	副専門委員長	平井 正明	日本光電工業(株)
//	副専門委員長	高坂 定	(株)メディック総研
-HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG	リーダー	窪田 成重	富士通(株)
-HIS-RISメッセージ交換標準化WG	リーダー	塩川 康成	キャノンメディカルシステムズ(株)
-病名情報メッセージ交換標準化WG	リーダー	木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
-生理検査メッセージ交換標準化WG	リーダー	村松 和彦	日本光電工業(株)
-注射処置標準化WG	リーダー	西岡 太郎	日本電気(株)
-データ交換規約共通編作成WG	リーダー	中田 英男	日本電気(株)
-PCD-WG	リーダー	藤咲 喜文	日本光電工業(株)
-HL7翻訳合同WG	リーダー	檀原 一之	日本電気(株)
・データ互換性専門委員会	専門委員長	窪田 成重	富士通(株)

部会・委員会名	役職名	氏名	会社名
医療システム部会	運営幹事	山内 俊幸	富士通(株)
//	事務局	岩本 和則	JAHIS
//	事務局	谷口 浩一	JAHIS

電子カルテ委員会

- ・患者安全ガイド専門委員会
 - 患者安全ガイド輸血編WG

(1) JAHIS標準類の策定

・JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(病理編)Ver.1.0

2020年度中に、JAHIS技術文書としての策定に向け作業中。

電子カルテ委員会、関連学会のレビューを行い、患者安全ガイド専門委員会にて指摘点に対する対応を実施中。

(2) JAHIS内外に対する電子カルテ関連の情報提供・連携

・日本医療情報学会、日本クリニカルパス学会 アウトカム志向型パス合同委員会「ePath規格化ワーキンググループ」への参加

・厚労科研「医療機関における医療安全および業務効率化に資する医薬品・医療機器のトレーサビリティ確立に向けた研究」への参加

・総務省「5G時代における遠隔医療等の在り方に関する調査研究検討会」への参加

・関連機関からのヒアリングへの対応

「電子カルテ標準化に関するヒアリング」、

「指定難病患者DB及び小児慢性特定疾病児童等DB更改に関するヒアリング」

(1) JAHIS標準類の策定

- ・ JAHIS医療情報システムの患者安全ガイド(注射編) の改定
- ・ JAHIS患者安全ガイドラインの拡充に向けた検討

(2) クリニカルパスの標準化に向けた検討

- ・ 2018年度AMED事業の一環として開発されたePathメッセージについて、JAMI標準としての規格化を図るために設置されたePath規格化ワーキンググループへの参加を通し、ベンダーの立場から標準化に関する意見具申を行う。
- ・ 標準規格化されたのちに、各ベンダーにて実装するためのポイントを整理した実装ガイド等のJAHIS技術文書の制定を予定。

(3) 電子処方箋の普及に向けた検討

- ・ 電子処方箋実装ガイドについて、JAHIS他部門や関連団体と連携し、運用ガイドライン改定への対応などを行い、データヘルス集中改革プランのACTION2で記載の2022年夏目途の運用開始に向け、電子処方箋の普及に向けた取り組みを行う。

(4) 電子カルテデータ利活用に向けた検討

- ・ 電子カルテデータの利活用に向けて、NeXEHRコンソーシアム、HL7FHIR日本実装検討WGの動向等の情報収集や共有、厚生労働省を含めた関連各所との議論を通し、課題の整理や電子カルテに実装すべき機能について検討を行う。

検査システム委員会

- 放射線治療WG
- 検査レポート検討WG
- DICOM WG
- 臨床検査システム専門委員会
 - 臨床検査データ交換規約 改定WG
 - POCTデータ交換標準化検討WG
 - 外注検査データ交換ガイド作成WG
- 内視鏡部門システム専門委員会
- 病理・臨床細胞部門システム専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- ・「JAHIS診療文書構造化記述規約 共通編 Ver.2.0」**制定**
同規約の要求に基づき「病理診断レポート構造化記述規約Ver.2.0」を改定、制定（放射線治療レポート、内視鏡レポート各個別編も関連学会と調整・開発中）
- ・「JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.1」**制定**
- ・「JAHIS臨床検査データ交換規約を用いた外注検査のための実装ガイドVer.1.0」**制定**

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

- ・**IHE-PaLM**、**IHE-Endoscopy**のWeb会議参加、スポンサー活動
- ・**DICOM対応**も、DSC、WG-13(Visible Light)、WG-26(Pathology)のWeb会議参加、4件のCpack、5件のSupliment投票案件の検討と投票を実施

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- ・**JAHIS教育事業「入門セミナー」**に検査システムの教材を提供、今期は録画配信で検体検査、病理、生理機能検査それぞれの専門家が講師を担当、臨床検査部分は新型コロナ対応に関連して、PCR検査などの説明を追加
- ・**IHE-Jコネクタソン**は、今期は内視鏡ドメインへの審査協力を実施（今期からEIAも）
- ・「ISO15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識 ～臨床検査システムに求められること～」**セミナーを11月30日に好評開催**

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

引き続き、院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動強化とJAHIS活動との連携

引き続き、国内活動にグローバルトレンドを反映させるためDICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と、情報収集・展開強化。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

引き続き、検査システム委員会主催セミナー、教育事業等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

部門システム委員会

- リハビリ計画書検討WG
- ・病棟業務支援システム専門委員会
 - 看護情報WG
- ・物流システム専門委員会

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

①部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決

病院情報システムにおける様々な部門システムの状況確認を行い、システム連携の洗い出し、整理を実施しJAHIS教育事業の教材に反映した。加えて昨年より進めている多種多様な部門システムについての類型化作業を実施した。

②教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

JAHIS教育事業に対し教材作成、講師派遣を通じJAHIS会員および外部受講者に部門システムに関連する情報や連携に関する参考情報を提供した。

(2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

①MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進

今回は、MEDIS-DCへの要員派遣を見送り、業界としての要求仕様を明確にすることに注力して活動を実施した。

②病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

看護情報WGを立ち上げ、看護指示、看護記録等の移行や連携のための検討を実施した。看護指示、実施の特性、タスク(指示を実施単位に分解)についてコンパクトセットとしてまとめ、利用方法を策定し課題の洗い出しを行った。

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進

普及が進む事により実現できる内容、メリット、実現するための課題・対策や普及を阻害する要因などについて検討・整理を実施した。

②「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定

医療材料マスタの活用によるコスト改善事例、国立国際医療研究センター様での活用事例バーコード活用時の留意点を考慮した改定案を検討した。

③医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察

医療材料のEDIの標準化に向けた検討を実施した。医薬品EDIのMEDICODEと医療材料EDIのME-NETの比較を行いガイドの章立ての骨格を決定した。

④院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

JAHISとの方向性を検討したが、現場ヒヤリングは新型コロナのために見送り。

(4) リハビリ業務の効率化、標準化及びその利用の推進

①リハビリ計画書連携の標準化推進 →新型コロナの影響もあり、活動休止中

②リハビリシステム業務の標準化推進 →新型コロナの影響もあり、活動休止中

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
- ・患者安全に関する施策活動の推進

(2) 病棟看護業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ・院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索
- ・「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定
- ・「医療材料EDI標準化ガイド」の策定検討

(4) リハビリ業務の効率化、標準化およびその利用の推進

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進

セキュリティ委員会

- 電子保存WG
- 監査証跡WG
- HPKI電子署名規格作成WG
- セキュアトークンWG
- JAHIS-JIRA合同
リモートサービスセキュリティ作成WG
- シングルサインオンWG
- JAHIS-JIRA合同開示説明書WG
- 教育事業WG

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・総務省、経済産業省の受託管理ガイドラインの統合や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定を受け、**17-006「JAHIS「製造業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイドVer.3.0a」**の改定を実施した。また、**17-008「JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.3.3」**の改定作業に着手した。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・ISO27789「EHRの監査証跡」ならびにDICOM PS3.15との整合性確保のため**13-009「JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約Ver.2.0」**の改定を実施した。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・**18-004「JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0」**に対するFHIRやOpenIDなどの新しいアーキテクチャへの対応を行うための改定作業に着手した。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と連携した**新人教育**ならびに**地域連携セミナー**等によるセキュリティ関連標準類の啓発活動や**MDS書き方セミナー**などの実践講座による啓発活動を実施した。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・厚生労働省の医療等分野情報連携基盤検討安全管理WGへのJAHISコメントのとりまとめ、パブリックコメント原案作成、**HPKI実装検討会**への有識者派遣などを通じて国の保健医療福祉分野のセキュリティ施策検討に協力した。

(1) セキュリティ関連のJAHIS標準類に対する必要に応じた改定

- ・ISOにおける関連規格の改定や厚生労働省の安全管理ガイドラインの改定などに対する、**JAHIS標準類のタイムリーな追従、改定**を実施する。

(2) JAHIS標準類のISO化ならびにISOのJAHIS標準への組み込み

- ・ISO27789の改定内容を踏まえ、JAHIS標準「JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約」との整合性確保を行い、**DICOM規格の最新版との整合性**も確保する。

(3) クラウド化、マルチプラットフォーム化への対応

- ・HPKIを用いた**電子署名やシングルサインオン**、MDSなど**クラウド環境**における利用を想定した改定や解説書などの作成を実施する。

(4) JAHIS標準類の啓発活動の実施

- ・事業推進部と協力し、**標準化セミナーや解説講座**などを継続的に開催する。また、JIRAセキュリティ委員会と協力し、**JAHIS/JIRA合同セミナー等**の開催を企画する。

(5) 国のセキュリティ関連施策検討に対する協力

- ・国の主催する各種検討会のWGや作業班にメンバーを派遣し、「**医療情報システムの安全管理に関するガイドライン**」の改定作業などに協力する。また、必要に応じてその他の実証事業、調査研究事業に対して協力する。

相互運用性委員会

メッセージ交換専門委員会

- HIS-薬剤部門メッセージ交換標準化WG
- HIS-RISメッセージ交換標準化WG
- 病名情報メッセージ交換標準化WG
- 生理検査メッセージ交換標準化WG
- 注射処置標準化WG
- データ交換規約共通編作成WG
- PCD-WG
- HL7翻訳合同WG

データ互換性専門委員会

(1) JAHIS標準類の策定

① データ交換規約(共通編) Ver.1.2

患者プロフィール項目の共通化、データ交換規約固有の取り決めの明確化、日本語訳の見直し、などを行い、2020年4月にJAHIS標準として**制定済**

～ **策定作業中のJAHIS標準類** ～

② データ交換規約(共通編) Ver.1.3

適合宣言書に基づく適合性の採用、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、被保険者証の枝番への対応、各種障害の重症度表現への対応、などを行い、年度内にJAHIS標準として**原案完成予定**

③ 放射線データ交換規約 Ver.3.2C

④ 内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C

⑤ 生理データ交換規約 Ver.3.1C

制定後3年を経過したため、データ交換規約(共通編)Ver.1.3への対応、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、などを行い、年度内にJAHIS標準として**原案完成予定**

(2) 実装システムの検証

① 「JAHISデータ互換性実証実験2020」の開催(予定)

- **開催期間: 2/15～18**
- **開催場所: 完全リモート開催**
- **実施テーマ: (1)患者情報 (2)処方情報 (3)注射情報**
- **HISベンダ5社が参加する予定**
- **トピック:**
 - (1)データ交換規約(共通編)Ver.1.2に基づき**UTF-8でのデータ交換**、
 - (2)審査支援システムの**クラウド化と完全リモート開催**

(3) 標準化の普及推進

- **HL7FHIR日本実装検討WG、厚労科研FHIRベース電子処方箋規格検討WG、ePath規格化WG等への委員派遣**
- **第40回医療情報学連合大会: 日本病院薬剤師会との共同企画の共同座長共同企画11「薬剤情報の連携のこれからと課題」(11/22)**
- **8年連続となる「薬剤に関する医療情報セミナー」の開催(1/25)**

～ 今年度同様、以下のような活動に取り組む予定 ～

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の**共通的な課題**に取り組む。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に**改版**を行う。
- 新たなテーマについて、部会や委員会を超えて**合同**で検討を行う。

(2) 実装システムの検証

- 過去15年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、**HL7FHIR**を使用したテーマにチャレンジする
- **各種ツールの整備**やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。**セミナー(講習会)**等も企画する。
- **IHE International** の国際会議に委員を派遣し、得られた知見をJAHIS 標準の改善、最新技術に基づく新たなJAHIS 標準類の制定などに役立てる。

電子処方箋実装ガイド策定TF

(1) 電子処方箋の運用ガイドライン第2版への対応

昨年4月に厚労省より「電子処方箋の運用ガイドライン第2版」が公開されたため、3部会7委員会からなるTFを再開し、

- ① 紙媒体の電子処方箋引換証の発行が不要となったこと
- ② 「電子処方箋管理サービス」「アクセスコード」などの用語の変更
- ③ クラウドサービスの推奨、管理サービスでの処方情報の不可視化、などの新たな要件

等への対応を行い、JAHIS技術文書「電子処方箋実装ガイドVer.1.2」として年度内に制定予定

(2) 政府のデータヘルス集中改革プランACTION2への対応

- ① オンライン資格確認を基盤とした電子処方箋運用の検討(ACTION2)に工業会として協力する。戦略企画部のTFと連携し、厚労省の調査研究事業などで運用面、実装面、技術面から意見表明や助言を行う。
- ② ACTION2での検討結果に対応するための実装ガイドの変更内容を検討する。

(1) 政府のデータヘルス集中改革プランACTION2への対応

- ① 政府の動きを注視しつつ、必要に応じてACTION2への協力を継続する
- ② 今年度検討した結果に基づき、ACTION2に対応するための実装ガイドの改版を行う



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました